東田小学校の ESD 活動

＜活動の概要＞

・本校区には，水生生物が豊富に生息する朝倉川が流れ，身近に子どもたちの生活に密着した教材がある。また，古くから住んでいるかたが多く，教育活動に対して積極的に協力していただいている。
・教材と地域の“ひと・もの・こと”を深く関わり合わせることで，「ふるさと東田」を愛する豊かな心を育みたいと考えている。
・これまでの教育活動を見直し，生活科・総合的な学習の時間を中心に学習を継続的に展開し，自分が住む地域のよさに気づき，将来にわたって地域への誇りと愛着をもてる子どもたちを育んでいきたいと願い，実践を試みた。

・活動の実際

①　自然・環境を考える活動　　―朝倉川探検―

４年生の子どもたちは，自分たちの校区にある朝倉川に目を向け，「生き物の種類」「生き物の数」「在来種や外来種の種類」「ごみの量とその種類」「川の水質」などのテーマを各自で設定し，調べ学習を進めた。

そして，より深く調べを進めたいと願う子どもたちのために，ＮＰＯ法人朝倉川育水フォーラムのかたを講師として，朝倉川の中流にフィールドワークに出かけた。生き物の採集方法，水質調査の方法を教えていただき，エビやメダカ，タイコウチなどの生き物を採集したり，その住みかを調査したりすることができた。その結果，朝倉川は比較的きれいな水であり，街中を流れる河川としては稀有な環境であることがわかった。

また，絶滅が危惧される生き物を間近に観察できたことに感動を覚えた反面，川岸のごみの多さに危機感をもつ場面も見受けられた。調査動を行ったことで，子どもたちは，故郷を流れる自然豊かな朝倉川をよりよい環境にし，守っていくための取り組みを考え始めた。

朝倉川での調査

②　福祉・安全について考える活動

―安全・安心なまちづくり―

５年生は，誰もがよりよく生きることができる社会の実現に向けて，学びを進めている。高齢者疑似体験や車いす，アイマスク，点字などの体験活動，総合福祉センター「あいトピア」の施設見学，認知症についての福祉講座を通して，さまざまな人の思いを知ることができた。ともに支え合いながら暮らしていくことの大切さに気づき，自分たちがどのような行動をし，どう接していけばよいのか，地域社会の一員として考えを深めることができた。

６年生は，東田校区の交通事故の危険性を調べるために，通学路を中心に危険な場所の確認をした。調べていく中で，歩行者とドライバーの視点が違うことに気がつき，運転中の車の死角について調べたり，身近なドライバーにインタビューしたりして調査をした。そして，東田校区の危険な場所について，一人調べをもとにグループでまとめた。

子どもたちは，他学年に交通安全を呼びかけることの必要性を感じ，発表資料作りを行い，全校児童に啓発活動を行った。「東田校区の安全・安心」について，より考えを深める子どもたちの姿が見られた。

交通安全推進決起大会での発表